

リオからの感動!...4年後の東京オリンピックに向けて頑張れ多久っ子!

リオデジャネイロオリンピックは、日本人の活躍・躍進に日本が盛り上がり、4年後の東京オリンピックへの期待をみんなが意識しました。多久市からも将来オリンピック選手が出たらと胸を膨らませます。今回は、多久市の中学生が頑張っている部活動について紹介します。

7月16、17日に小城・多久地区中体連大会が開催され、中央校は9種目12競技、東部校は6種目8競技、西溪校は5種目7競技に出場し頑張りました。県中体連大会に中央校11競技、東部校2競技、西溪校2競技の生徒達が勝ち進み、九州大会への出場となりました。(下記成績表のとおり)

<p>☆☆九州大会☆☆</p> <p>☆ハンドボール部男子 県大会優勝 中央校</p> <p>☆ハンドボール部女子 県大会優勝 中央校</p> <p>☆陸上 男子1500m 県大会2位 中央校</p> <p>☆バドミントン個人 県大会優勝 中央校</p> <p>田中 果帆さん</p> <p>県大会2位 東部校</p> <p>江里口梨奈さん</p>	
--	--

市教育委員会でのスポーツ関係の取り組み!

- 8月24日(水) 青少年スポーツ指導者研修会を初めて開催
 テーマ:「成長期のスポーツ指導のあり方について」
 講師:鶴田整形外科 小松 智先生
- 8月3日(中央校)・4日(西溪校)・8日(東部校) スポーツ栄養教室を各学校で実施
 テーマ:「競技力を向上させる体づくりのための食事」
 内容:部活動を行う中学生対象の調理実習



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

温故創新

市長コラム Message for citizen

「あきらめない」が光ったりリオ五輪

市長 横尾 俊彦

感動の五輪だった。リオデジャネイロ・オリンピックで日本は史上最多の41メダルを獲得。金12、銀8、銅21という結果。メダルに及ばずとも全力を出し切った勇姿も含め、全てのシーンでアスリートたちの感動を呼ぶプレーが光った。

重量挙げ銅メダルでスタート。悲願の団体優勝達成の体操日本男子と内村の個人総合も大逆転で金メダル。奇跡の大逆転で優勝の女子バドミントンの高橋・松友ペア。男女の卓球団体も接戦を制してメダルを獲得。男子テニス錦織も銅メダル。陸上王者ポルト選手が「美しいリレー」と評した男子陸上400mリレーは銀メダル。連携は男子水泳リレーも光り銅メダル。一本勝ちにこだわる技で金に届いた柔道。執念と練習量でメダルラッシュを加速させたレスリングでは伊調選手が史上初の4連覇など。「あきらめない」力が光輝いた。

最高の練習を最大に積み上げた者が勝つと信じて奮闘した選手、他種目で「あきらめない」で勝ったなら私たちもと快進撃に転じた選手、最後まで全てを出し切って悔いを残したくないにこだわった選手、それぞれの人生を賭けた五輪競技だった。多くの感動があり、全てのアスリートに感謝を伝えたい。

雨天となった閉会式では、五輪スタジアムのフィールドには日の丸デザイン表現も披露された。次期開催都市・東京を代表して五輪旗を受け取った和服姿の小池百合子都知事は希望と決意も新たに語られた。世界情勢が不安定化傾向で、難民問題、テロ問題、環境問題など、かつてない課題を抱える時代に開催される日本の首都・東京での2020年オリンピック。

伝統を踏まえ新展開を推進する挑戦を拓いてほしい。いや、ともに拓いていきたいものです。地方創生などの施策展開の潮流を東京五輪に向けて結実させつつ。もちろん、私たち個々の国際性などの向上も含めて。さあ新たにレッツ・スタート。残暑続きです。くれぐれも体調管理にご留意ください。